

<両立支援科学領域について>

指導教員：永田 昌子

両立支援科学は、病気や障害を持った労働者が治療と仕事を両立するための支援として、職務適正評価ならびに本人を中心とした医療機関と職場の連携を基盤とした支援を取り扱う領域である。「特論」では、治療と仕事の両立支援が求められる背景と政策の流れ、地域資源と職務適性の評価の基本を学ぶ。「演習」では、カンファレンスや抄読会などの手法を通して、多職種の視点と職務適性評価の実践を学ぶ。「実習」では、医療機関及び事業場での両立支援活動の実践や担当教員との討論等を通じて、両立支援科学の実践技法を習得する。「論文指導」では、研究課題の設定を行い、文献調査の手法、統計的な検討について指導した上で、研究を遂行させる。これによって、両立支援科学の領域および関連の深い周辺領域に関する課題の探求能力を修得させる。

この科目を通じて、本領域の特色を踏まえた課題解決能力を付与する。

<産業衛生学専攻博士前期課程への入学を希望される方へ>

1. 研究テーマについて

両立支援科学領域では、以下の研究テーマを想定しています。

両立支援科学（永田昌子准教授）が中心となって指導する研究

- 両立支援科学が保有する産業医科大学病院の診療データを用いた疫学研究
- 大学院生自身の所属する病院等のフィールドデータを用いた両立支援に関する疫学研究
- 両立支援をテーマとしたフォーカスグループインタビュー等を用いた質的研究

2. 受け入れ要件の目安

一般入学者および週1日程度の対面指導が可能な社会人入学者については、受け入れ要件はありません。

一方、主にリモートでの指導を前提とした社会人入学を希望される場合、2年間の修学期間で必要な成果を確実に上げるために、以下を受け入れの目安としています。

以下の項目のうち、2つ以上の項目を満たすこと

- 想定される研究を行うことができるフィールドを確保できている。
- 想定される分析手法を理解している。
- 何らかの学术论文を執筆した経験がある。

問い合わせ先：両立支援科学 代表メールアドレス

j-ryoritsu@mbox.med.uoeh-u.ac.jp